

平成27・28年度 医療経済研究機構自主研究事業

# 知的障害者への 向精神薬使用の 適正化に関する研究

研究代表者

奥村 泰之

平成29年3月

Medical

Care

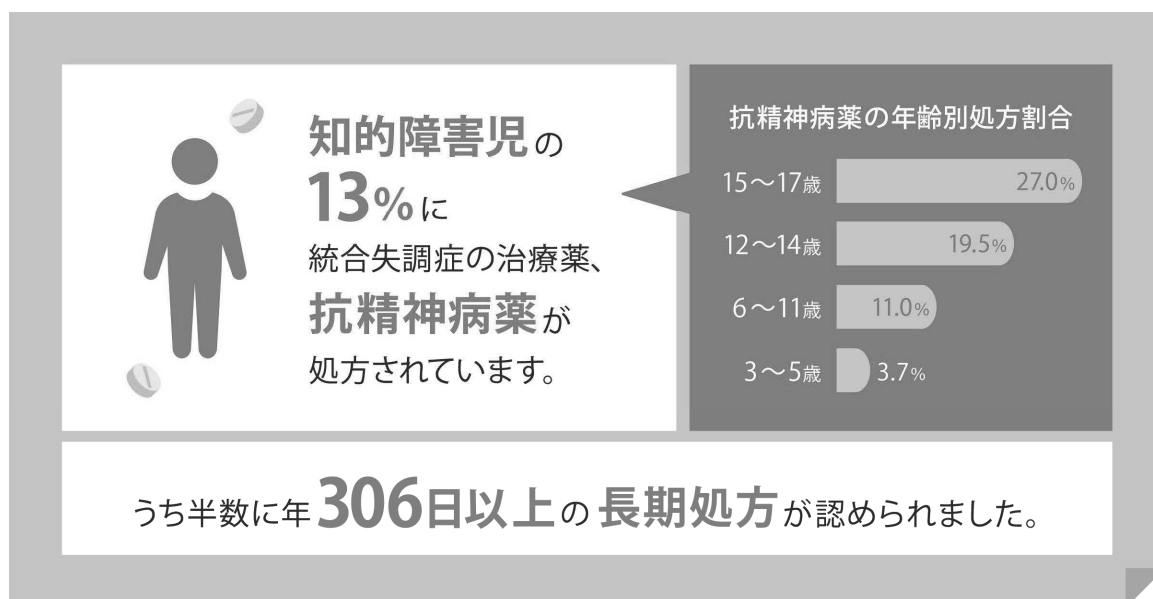
International

Others

IHEP

## 序文

本報告書では、学術論文として掲載された、「知的障害児に併存する精神疾患・行動障害への向精神薬使用の実態：大規模レセプトデータベースを活用したコホート研究」(井上祐紀, 奥村泰之, 藤田純一: 精神神経学雑誌 118(11): 823-833, 2016) の研究成果概要を解説することを目的とする。本研究では、健康保険組合に加入する知的障害児 2,035 人の精神疾患・行動障害に対する薬物療法の実態を 1 年間にわたり調べた。その結果、知的障害児の 13% に統合失調症の治療薬である抗精神病薬が処方されていること、うち半数に年 306 日以上 of 長期処方 が認められることなどが示された。本研究結果は、知的障害児に対する行動障害の診療ガイドラインを整備すること、副作用のモニタリング等を制度化することが求められることを示唆する。



## 目次

序文 .....	1
1. 背景 .....	3
1.1. 知的障害 .....	3
1.2. 知的障害に伴う精神疾患と行動障害 .....	3
1.3. 知的障害に伴う行動障害の診療ガイドライン .....	3
1.4. 成人における知的障害に伴う行動障害に対する薬物療法 .....	4
1.5. 子どもにおける知的障害に伴う行動障害に対する薬物療法 .....	4
1.6. 目的 .....	5
2. 方法 .....	6
3. 結果 .....	7
3.1. 薬剤クラス別の年間処方割合 .....	7
3.2. 年齢階級別の抗精神病薬処方割合 .....	8
3.3. 抗精神病薬の年間処方日数 .....	9
3.4. 抗精神病薬の多剤処方割合 .....	10
3.5. 抗精神病薬の高用量処方割合 .....	11
4. 考察 .....	12
4.1. 結果の解釈 .....	12
4.2. 本研究結果から得られる示唆 .....	12
5. 本研究実施後の国際動向 .....	13
5.1. 新しい診療ガイドライン .....	13
5.2. 学習障害を有する人への過剰処方の中止宣誓 .....	13
6. メディア掲載 .....	14
引用文献 .....	15

知的障害者への向精神薬使用の適正化に関する研究

平成 29 年 3 月

発行：一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会

医療経済研究機構

〒105-0003 東京都港区西新橋 1-5-11

11 東洋海事ビル

TEL : 03 (3506) 8529

FAX : 03 (3506) 8528